

広報



しら

平成5年

6・7月号



海岸は
きれいに

7月19日、環境美化宣言のふさわしい村にーと海岸清掃が実施されました。

本格的な観光シーズンを前に、村内小・中学校PTAなどが海岸線を一齐に清掃し、中井寛敏くん（写真、十三小5年）も汗を流しながらゴミを集めていました。

ゴミは持ち帰るなど、きれいにつかいたいものですね。

誘致企業工場建設へ地鎮祭

現地法人SAS三商株式会社

村内の男子製企業として誘致する三商株式会社は、七月二十七日、立地予定地内において工場建設へ向け、地鎮祭を執り行いました。

式典には、近藤社長はじめ高松村長、大滝県工業振興課長など関係者三十五名が出席し、玉串を奉納して工事の安全を祈りました。



地鎮祭で工事の安全を祈願

今後、会社は用地造成工事に着手し、早期に工場建設へとりかかりたい意向を示しており、村でも従業員の地元採用ほか必要な協力をしていくことになっています。

また、会社は現地法人とし、社名を「SAS三商株式会社」とすること。市浦村のS、青森県のA、三商株式会社のSとそれぞれ頭文字をとり、「SAS三商」と呼ぶことも紹介されました。

なお、引き続き行われた祝賀会で、近藤社長より、ごあいさつがありましたので紹介します。



玉串を奉納する高松村長

「地域に貢献できる会社」と語る近藤一社長



皆様には公私ともに御多忙中にもかかわらず、当社工場建設工事地鎮祭にご出席をたまわり、心より御礼申し上げます。また、県からは大滝課長及び葛西主査、そして地元関係者、多数の御出席をたまり光栄に存じます。

初対面の方もありますので、概略を説明させていただきますが、これから市浦村に建設する工場で生産される製品は、耐熱特殊ペーパーと申し上げていきましたが、これはアラムド繊維でつくられる「絶縁ペーパー」であります。

製造方法にはウェット方式（湿式）とドライ方式（乾式）があり、ドライ方式はドライ方式によるものであつて、繊維をぬらさないで作る方法です。非常にコストが安く、あるのが特徴です。七月には、特許申請を経て、半年、四十億を投じて来年十月に



くわ入れをする近藤社長

また、ユニチカと王子製紙が二年先を目指して増設を決定しました。これから生活文化、化学の面で需要が大きく前途有望な製品であります。工場の規模は約三千坪であつて、当初は一セツトで換えたしますが、引き続き二セツトを増設する計画であります。市浦村との工場出の基本協定書に基づいて作業を進めますが、村、村議会及び地元の皆様、更なるご協力をお願いいたします。

昨年、全国中小企業の大会で、青森県知事はじめ衆議院の先生方にごあいさつの機会がありました。若年層の地元定着のため、工場の進出を強く要望されました。当社も産業拠拠と縁があつて、セツトで受け入れようという村議会の議場の決議をいただいたいささか曲折があつても、それを信じて今日を迎えました。世界に通用する新しい製品に挑戦し、地域に貢献できる会社にするため努力をいたす所存でございますから、二層のご指導、鞭撻をお願い申し上げます。

カメラルポ

春彩祭

今年から、相内の虫送りと東日流安東まつりを同時開催した「春彩祭」が、6月5、6日の2日間にわたって開かれました。

初日は、安東文化顕彰シンボル塔の竣工式、2日目は、大沼イベント会場を中心に人間馬力大会などが盛大に行われ、名場面をカメラで紹介します。

- ① 大変な盛り上がりを見せた相内の虫送り
- ② 小笠原廉仁さん(相内地区)による見事なハチさばき
- ③ 勇壮な安東氏時代絵巻パレード
- ④ 相内小鼓笛隊を先頭に安東文化顕彰シンボル塔を通り初め
- ⑤ 迫力満点の人間馬力大会
- ⑥ 中学生もかわいらしくパレードに参加
- ⑦ まつりに花を添えた三上嘉文一座津軽民謡ショー
- ⑧ 舞台会場で熱心に見入る観客



▶ 観光客の土産品としても好評を得ています



「北の炎」製造され、気になる味の方ですが、清酒がやや甘口、原酒はピリリと辛口になっているなどと評判も上々です。

一・八の清酒本醸造が二千本(二二千円)、七百二十本の本醸造原酒が二千本(一・八本千三百円)製造され、気になる味の方ですが、清酒がやや甘口、原酒はピリリと辛口になっているなどと考え出されたものです。

只今、村内の酒取扱店で、日本酒「北の炎」が限定販売されております。

NHK大河ドラマ
「炎立つ」放映中
— 村に誕生 —
日本酒
「北の炎」
ほむら

5月26日実施 生かされた 総合防災訓練

五月二十六日、震度六、津波の来襲、火災の発生を想定した市浦村総合防災訓練が行われました。

これは、迅速かつ円滑な災害応急対策の確立及び防災知識の普及を図ることを目的に実施されたもので、村消防団、消防署員、一般村民など約三百人が参加しました。

また同日、消防団観閲式も市浦中グラウンドで行われました。



十三地区では炊き出し訓練



潜水救助隊による捜査訓練



役場では消火訓練が行われる



堂々たる分列行進



防波堤をパトロールする消防団員

七月十二日午後十時十七分頃、北海道南西沖で起こったM七・八の「北海道南西沖地震」で死者、行方不明者が奥尻島を中心に二百人を超える大惨禍となったのは、記憶に新しいところです。

村でもこの日、緊急に村職員、警察官、消防団員らが役場に集合し、午後十一時二十分には十三、脇元、磯松地区に津波による避難命令が出されました。

避難場所となった脇元小学校、十三小学校には約二百人の村民が避難し、心配したおむきで、指示が出るまで待

機していました。幸い、十三日午前一時三十五分には、津波警報が解除され、避難者は、それぞれ家庭へ帰宅しました。十年前の日本海中部沖地震の体験が、今回の防災無難による迅速な連絡体制などに生かされていました。

村の被害状況を見ると十三地区の一部で停電、太田地区では断水がありました。まもなく復旧し大事には至りませんでした。

なお、災害の義援金に関することは、役場住民福祉課までお問い合わせください。



深夜、緊急に対策会議を開催

グラツ 十年前の悪夢 北海道南西沖で地震発生 今ふたたび……

6年ぶり5度目のV 優勝への軌跡

▶1回戦

相内分校	0	3	0	1	0	1	2	7
三沢	0	0	1	0	0	0	1	0

〔評〕理想的に抑え、秋田谷一越野のバッテリーを中心によく守った。

▶準決勝

弘前工	0	1	0	0	1	0	0	2
相内分校	0	3	6	0	0	1	X	10

(7回コールド)

〔評〕3回に、打者11人を送る猛攻で勝負を決める。

▶決勝

相内分校	1	0	0	0	0	0	2	0
八戸工	1	0	1	0	0	0	0	1

(延長11回)

〔評〕接戦の末、延長を制し見事に優勝。ピッチャー秋田谷の我慢の投球が勝利を呼んだ。

第四十三回青森県高校定通制総合体育大会が、六月十三、十四日の二日間、青森市で開催されました。

本校からは、黒立倉木高等学校相内分校が、出場し、軟式野球で見事優勝し、神宮大会へのキップを手に入れました。

試合結果は別記のとおりですが、相内分校野球部は、八月十六日から開催される全国高等学校定通制・通信制軟式野球選手権大会（東京都神宮球場）に向け猛練習中で、上位進出の活躍が期待されています。

村民の皆さんも、暑いエールを送ろう。ガンバレ、相内分校



優勝旗を手に選手、監督、応援団らが記念撮影

もうひとつの甲子園 相内分校 全国大会へ出場

海峡を越えて手をつなぐ 上ノ国町と友好五周年記念植樹



三重前村長も植樹祭に参加



左から鶴谷武英校長、相内小緑の少年団の佐藤朝さん、秦 杏奈さん、木津谷健くん

六月四日、市浦村と北海道上ノ国町が友好町村五周年を記念して、市浦村が黒松の苗木七千五百本を贈り、上ノ国町中世の碑公園内で記念植樹祭が行われました。

植樹祭には、上ノ国町長はじめ町の各団体から約百人が参加し、市浦村からは高松村長はじめ前三重村長、相内小緑の少年団など総員十四人が参加しました。

日本海情報交流館において黒松の苗木の贈呈式が行われ、市浦村長から上ノ国町長へ、市浦村議長から上ノ国町議長へ、そして相内小緑の少年団から上ノ国町湯の岱小緑の少年団へ黒松の苗木がそれぞれ贈られました。

湯の岱小緑の少年団からは、「緑を大切にし、この黒松が大きく成長するのが楽しみです」と謝辞があった後、参加者全員により二千本の苗木が植樹されました。

植樹が終わった後、町福祉センターにおいて昼食交流会が行われ、最後にはしうら音頭が流れると、市浦村と上ノ国町の婦人の方が踊りの花を添え、なごやかに交流会を終えました。

しゅうらっ子が大好き 新しく赴任した先生を紹介します

相内小学校



つるもと ひで 武 谷 鶴



なかむら いん 新 藤 弥 佐



なかがわ まさ 学 中 川

たいものです。

①五所川原市立五所川原小学校
校 長
②五所川原市
③校長
④安東文化のふるさと、歴史とロマンのある市浦村。平成二年に新築され、岩木山のすそ野に広がる十三湖のすばらしい景色を見渡すことができる相内小学校。村の水である(ひば)独特のすがすがしい香りが今も校内に漂っています。そして、明るく元気な子どもたちがたくさんいます。
今は、そんな相内小で仕事ができることに喜びを感じています。一人一人の子どものため、地域・PTA・学校が一体となった教育活動を進め

①木造町立孤橋小学校
②中里町
③教務主任
④出身は隣町の中里でありながら、子どもの頃から「十三湖のしじみ貝」だけが市浦村のイメージでした。しかし、この地を職場として二ヵ月余り、安東まつりや虫まつり等から伝わってくる村の活気を感じました。さらに、多数の父兄が集まってくられた運動会の準備で、子ども達への愛情や期待を感じ、新しい市浦村のイメージが生まれました。
自分は微力ですが、できることを精一杯頑張っただけだと思っています。宜しくお願ひ致します。



ひし の 神 美 穂

①木造町立向陽小学校
②西郡深浦町
③第五学年
④「市浦」は「十三湖」と「十三湖」は「海の近く」と言うイメージがあり、相内も海の近くだろうと思っていました。ところが、相内に来てみると、この雄大な自然の中で、元気がいっぱいの子どもと共にがんばります。
PS ナイタースポーツものがんばるよん。

①新採用
②青森市
③第三学年
④市浦村へは以前、バードウォッチングで来たことがあり、自然の豊かさに感動しました。現在、さらに人々の温かさや子ども達の純真さを感じています。今後も温かく見守って頂ければ幸いです。
私は高校時代は理系クラスで文化部でしたが、身も心も体育系です。この根性でがんばります。



まつもと てる 照 蔵 中 谷

太田小学校

①中里町立今泉小学校
②金木町
③校長
④市浦村というより「相内」の印象が強い。昭和三十年、



くろき こ 子 美 川

①黒石市立大川原小学校
沖揚平分校
②中西二学年
③第一・二学年
④市浦村といえば十三湖、安東、しじみを想像しますが、私の赴任した太田は、周囲が緑豊かな山々に囲まれ、私の育った目屋に非常によく雰囲気が似ているうえ、まわりの方々がとても心あたかく、充実した日々を過ごしています。

今年から相内の村常住に住んでみて、どこに住もうとそんなに違いがないことがわかった。
子ども達もよく育っており、青森の子ともよりはずっと純で、子どもらしさがいっぱいあるし、元気がいっぱいあるのにはおどろいた。
今後が楽しみな毎日を送っている現在である。



いし とも 輝 田 弘

脇元小学校

初任地が小泊小学校であった。冬休みに家に帰るのに二度小泊・中里間を歩いた。相内の山中は特に長く感じたものだ。その後、十三湖に釣りに来たも、シジミ貝を取りに来たもの。今はパイプスを通りその当時の相内とは思えない位発展しているのに驚いている。ただ、人口減少があると聞くが、この町村も同じ悩みを抱えている。何とか歯止め策はないものかと考えている。

①青森市立長島小学校
②金木町
③教頭
④青森で生活していたころは友人と何回かは十三湖や小泊に遊びに来たことはあったが、実際に生活するということは考えてもみなかった。

①中里町立今泉小学校



のぼる 昇
つか 塚
よね 米

十三小学校

① 会社員
② 五所川原市
③ 学校事務
④ この学校へ来て子供の元気のよさにびっくりしました。また、海の近くにある学校ということで環境もよく、子供の元気なのは、このためではないかと思いました。
私は神奈川の方で会社員をしていましたが、どうしても教員にならなく退社してしました。初めのうちは、退社するのによかったか心配になりましたが、今はこれよかったですと思っています。



あつし 淳
どう 藤
く 工

②中里町
③ 教頭
④ 前任校の今泉小学校とは、十三浦をはきんで直線距離にすれば数キロだが、随分遠くへ来たような気がする。市浦へ来たことにより北三町村を異動したことになる。様々な文化に触れる事が多いがこの市浦の歴史には深さを感じてみたい。



**幸
**徳
**坂
**天

① 下北郡大畑町立大畑小学校
② 西部森田村
③ 市浦への想いとしては、歴史的にも観光的にも非常に興味のある所が多いという気がします。できればそれをもっと生かされたらいいなあと 생각합니다。
子供たちの感想は、素直な子供たちが多いので、それを失わずに元気に育ってほしいです。
④ 東郡今別町立今別中学校
⑤ 第三学年B組担任
⑥ 出身が小泊村ということで、よつちゅうこの市浦村にお



こ 光
か 一
さ 藤
さ 佐

市浦中学校

① 五所川原市立立小小学校
② 弘前市
③ 第三学年
④ 十三小学校に着任して、早いもので二ヶ月がたちました。前任校が児童数九百名を越える大きな学校だったので、初めは小さな学校だなあというのが実感で、毎日が楽しい驚きに充ちていて、十名の子供達と共に元気に頑張っています。



い 一
しん 淳
やま 山
にし 西

邪魔していましたし、学生時代には、教育実習生としてお世話になりました。月日が経つのは早いものであれから十二年。私の頭の毛の本数が月日の長さを物語っているようです…。そんなわけで、非常に親しみをもつて市浦中学校へ赴任してきました。
市浦村の人達は、人間味にあふれ、あたかくなばかりで、市浦中生も明るくのびのびしています。
そんな人達の中で生活できることを本当に幸せに感じている今日このごろです。



か 中 豊
が 中 山
か 中 龍

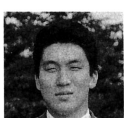
ですが、今後は物事を進んで行う積極性を身に付けていって欲しいものです。
① 西郷 節
② 西部木造町
③ 第二学年副担任
④ 市浦はとても自然に恵まれており、この自然、海、山、川、湖という環境で育ってきた生徒はとても元気があり、明るく、素直でものびのびしていると思います。その素直さをいつまでも失わず成長してほしいと思います。



こ 子
か 中 幹
の 野
は 嶋

金木高等学校 相内分校

④ 「名もない草も実をつけるのちいつばい
自分の花を咲かせて」
知識も経験も貧弱で、いつも失敗ばかりしている、いつもいいますが、生徒に負けないよう何事にも一生懸命頑張ります。そして離任の際には何か「実」を残して行きたいと思っています。よろしくお願いします。



い 伊
か 中 藤
の 恒

① 青森県立深浦高等学校
② 五所川原市
③ 全学年の副担任
④ 生徒からは、巨人の松井に似ていると言われていますが、野球歴は小学校二年間だけで中学校、高校、大学と十年間卓球をしました。今年また野球部の顧問として、生徒と一緒に野戦をしています。
四月から神宮を目標にして頑張ってきましたが、生徒の頑張りもあって、相内分校野球部は定通総体で六年ぶり五年度目の県大会優勝を飾りました。これからは、神宮に向けて頑張っていきたいと思っています。よろしくお願いします。

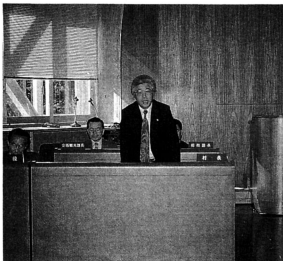


しん 晋
もり 森
たけ 杉

① 三沢市立堀口中学校
② 西部木造町
③ 第二学年

村 議 会

6月定例会



6 月 定 例 会

市浦村議会第2回定例会が
6月21日から24日まで開
れました。

今回の定例会では、専決処分の承認を求めることについて四件、平成五年度補正予算案三件、条例の一部改正四件、人事案件一件、工事請負契約締結案一件などが提案され、いずれも原案どおり可決、承認されました。

これにより、一般会計予算は、歳入歳出の既定額二十四億八千五百万円にそれぞれ二千五十九万四千円を追加し、総額二十五億五百六十九万四千円となりました。

野菜育苗施設等に二千六十九万四千円を追加

専決処分した主なもの

- ・市浦村条例の一部を改正する条例
- ・平成四年度一般会計補正予算(第九号)
- ・平成五年度国民健康保険特別会計補正予算(第一号)

- ・平成五年度老人保健特別会計補正予算(第一号)

その他可決、承認された議案

- ・平成四年度市浦村繰越明許費繰越計算書の報告
- ・平成五年度一般会計補正予算(第一号)
- ・平成五年度農業共済事業特別会計補正予算(第一号)
- ・平成五年度十三財産区特別会計補正予算(第一号)
- ・市浦村職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正
- ・市浦村議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の一部改正
- ・市浦村農業共済条例の一部改正

- ・市浦村コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正

- 例の一部改正
- ・十三小学校大規模改造工事請負契約の締結

人事案件

任期満了に伴う固定資産評価審査委員会の委員に次の方を承認しました。

◎古川長光(相内七十七歳)

決 議

米穀の不正規流通撲滅宣言に関する決議

報 告

産業建設常任委員会所管事務調査報告

第2回臨時議会

7月7日開催

第二回臨時議会では専決処分報告一件、平成五年度一般会計補正予算案一件、消防ホ

ンブ自動車購入契約一件が提出され、いずれも原案どおり可決、承認されました。

可決・承認された議案

- ・青森県市町村等非常勤職員公務災害補償等組合規約の一部変更
- ・消防がンブ自動車購入契約の締結
- ・平成五年度一般会計補正予算(第二号)

北津軽郡町村議会議長会会長に工藤武則市浦村議会議長が就任しました。

秋元新一会長(中里町議会議長)の辞任に伴う、新会長選任の協議会が六月二十八日開かれ、会長に工藤議長が選任されたもので、任期は二年となっております。

